

2016年度事業報告書

特定非営利活動法人市民公益活動パートナーズ

1 事業の成果

2016年度事業については、以下の3つの重点事項を設けて取組みました。

重点 1. 福島県及び近隣県のNPO法人の社会的信頼向上のための支援活動

年度を通じ、NPOに関する問合せ・相談業務は年度を通じて行いました。

また、特に上半期(2016年10月～17年3月)は「避難からの“次の暮らし”をつなぐ・支える応援プロジェクト」、下半期(17年6月～9月、以降年度を越えて継続)は「地域活動団体をつなぐPJ」を通じて、NPO勉強会等を開催し、県内外のNPO・市民活動団体等と共に、組織運営の課題について対話をを行い、解決のヒントを提供する取組みを行いました。

重点 2. “これから”的復興・地域再生支援活動に向け、市民公益活動団体等の調査に基づく新規事業の企画立案

以前行った福島県及び隣県の復興支援団体調査(2012年度～13年度)から約3年が経過し、今の活動状況や抱えている課題等を明らかにするために、かつ中間支援としてNPO支援の在り方を探るために、今回は県内7方部での調査に取組み始めました(2017年度上半期、終了予定)。

そして、この調査を元に来年度以降につながる事業提案等を行い、財源の確保と活動の継続を進めます。

重点 3. 若者を中心とした人材育成と活用を目指すプロジェクトの継続

5ヶ年度、4回(2012年度～13年度、15年度～16年度)に及ぶ支援は終了したが、自主事業や助成金・補助金事業の中で若者との接点を、努めてつくるようにしました。今年度は正会員からの要請を受け、複数回のワークショップを企画、提供しています(以降年度を越えて継続)。

さらに、今年度下半期から取り組み始めた「地域につなげ地域に根付く 井戸端ボトムアップ事業」においては、おとなばかりではなく、若者の参画も呼び掛けます(以降年度を越えて継続)。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
(1)市民公益活動及び組織運営に係る相談・提言・研修等に関する事業	1.市民公益活動及びNPO相談	2016年10月1日～17年9月30日〔通年〕	・福島事務所及び仙台事務所 ・NPO及び市民公益活動団体活動拠点等	3名	福島県内外(山形県、宮城県等)のNPO法人や市民活動団体、市民等	0
	2.NPO組織基盤強化及びNPO活動に関する研修					0
	3.避難からの“次の暮らし”をつなぐ・支える応援プロジェクト(以下、これからPJ)	2016年10月1日～17年3月30日〔下半期〕	・福島市を中心とした県内及び隣県(宮城県、山形県等)	5名	・福島県県北地域、相双地域のNPO・市民活動団体や市町村社協等約80団体 ・相双地域から避難している県北地域住民、避難先地域住民や商業店舗等約800人 ・浪江町仮設・借上げ住宅自治会及び相双地域の避難者自治会等約50団体	1,918
(2)市民公益活動の普及啓発に係る広報、人・財登録及び情報提供に関する事業	4.福島の地域活動団体をつなぐプロジェクト事業—ふくしまの今を知る・応援する・発信する—NPO勉強会の取組み	2017年6月1日～9月30日〔17年度へ継続〕	福島県内	4名	福島県内のNPO法人、市民活動団体等	709
	1.浪江のこころプロジェクトへの協力	2016年10月1日～17年9月30日〔通年〕		2名	・双葉郡浪江町及び町民、関係組織 ・浪江町等を支援する団体	0
	2.浪江町タブレット「なみえ新聞」に対する協力					0
	3.若者たちで明日の福島をつなぐプロジェクト	2016年10月1日～17年3月30日〔下半期〕	・福島事務所 ・福島県中通り地方	14名 ・学生アルバイト3名	・福島県全域、特に学生を中心とした若者 ・福島県県北地域に避難した浜通りからの市民	0

				・学生 ボラン ティア9 名 ・事務 局2名	・県北地域の被災者・ 避難者の支援活動を行った組織等	
	4. 福島の地域活動 団体をつなぐプロジェクト事業—ふくしま の今を知る・応援する・発信する— (以下、地域活動団体をつなぐ PJ) 地域活動団体現状 調査、取材の取組み	2017年6 月1日～9 月30日 [17年度へ 継続]	・福島事務 所 ・福島県全 域	4名	福島県内の NPO 法 人、市民活動団体等 ・団体基本データの 作成(約 100) ・調査・取材(約 20 団 体)	709
	5. 地域につなげ地 域に根付く 井戸端 ボトムアップ事業 (以下、いどばたボト ム PJ)	2017年6 月30日～ 9月30日 [17年度へ 継続]	・福島事務 所 ・福島県県 北・相双地 域を中心と した 復興 (災害)公営 住宅自治会 と立地地域 公益住宅住 民		・福島県県北・相双地 域の復興(災害)公営 住宅自治会 ・団地立地地域自治 組織(町内会、自治会 等)と新旧住民	200
(3)市民公益 活動に係る 会計基準及 び評価に關 する普及啓 発・調査研究 事業	1. 市民公益活動及 びNPO相談	2016年10 月1日～ 17年9月 30日[通 年]	・福島事務 所及び仙台 事務所 ・NPO 及び 市民公益活 動団体活動 拠点等	2名	・福島県内外(山形 県、宮城県等)の NPO 法人等約 5 団体	0 0
	2. 活動団体をつな ぐ PJ—NPO 勉強 会、個別相談等	2017年6 月1日～9 月30日 [17年度へ 継続]	・福島事務 所 ・福島県全 域	2名	福島県内の NPO 法 人、市民活動団体等 (約 5 団体)	—

(4)監査・監事業務の啓発に関する事業	これからPJ NPO組織基盤強化及びNPO活動に関する研修(しゃべれば会議、NPO勉強会等)	2016年10月1日～17年3月30日[下半期]	・福島事務所及び仙台事務所 ・研修会場(郡山、福島、仙台、山形市等)	2名	福島県内外(山形県、宮城県等)のNPO法人等のべ50団体	—
(5)前各号に係る協働の企画提案・ワークショップの運営・情報の収集及び発信に関する事業	1. NPO法人りょうぜん里山がっこう(大学生の発想によるけんぽく「食」「農」の魅力発信事業)ワークショップの運営・実施	2017年9月1日～30日[17年度へ継続]	・福島事務所 ・NPO法人りょうぜん里山がっこう	2名	伊達市靈山地区の住民及び地域活動団体約15名、福島市内外の大学生約8名	0
	2.その他 ・これからPJ「しゃべれば会議」 ・これからPJ及び地域活動団体をつなぐPJ「NPO勉強会」	2016年10月1日～17年9月30日[17年度へ継続]	・福島事務所(2階うわまちワーキングスペース) ・会場(郡山市、福島市、仙台市、山形市)	2名		—
(6)その他、定款第3条の目的を達するために必要な事業	1.ふくしまは、美味しい—近くから遠くまで、もっともっと福島の良さを広げよう—	2016年10月1日～17年2月24日[上半期]	・福島事務所 ・県外イベント会場(福島、大阪、広島、仙台市の市民等)	2名	・イベント開催協力団体、企業等 ・福島、大阪、広島、仙台市の市民等 ・アンケート回答数:696件	0
	2.「ふくしまは、かなり美味しい」キャンペーン	2017年5月25日～9月30日[17年度へ継続]	・福島事務所 ・県外イベント会場(東京)	2名	・イベント開催協力グループ(料理研究家、マーケティング等専門家) ・イベント参加者(首都圏在住)	682